

## 家庭におけるレジオネラ症の予防対策

レジオネラ症は、レジオネラ属菌を吸い込むことによって起こる感染症です。レジオネラ属菌は、水中や土壌中など自然界に広く存在しており、特に免疫機能が低い高齢者、乳幼児、喫煙者、透析患者、糖尿病患者等がかかりやすいとされています。

また、レジオネラ症は劇症型のレジオネラ肺炎と一過性のポンティアック熱の2つの型があります。

レジオネラ肺炎		ポンティアック熱
全身倦怠感、頭痛、食欲不振、筋肉痛などの症状に始まり、咳、高熱、胸痛、呼吸困難、下痢、意識障害、精神症状など。	主な症状	突然の悪寒、発熱、咳、頭痛、筋肉痛など。
2～10日（平均4～5日）	潜伏期間	1～2日（平均38時間）
進行は早く重症の場合、死亡することもある。	特徴	軽症で、数日で治ることが多い。

### レジオネラ属菌はどこにいるの

消毒されていない水や、入れ替わりの少ない水で繁殖します。水温 20℃～50℃で増殖し、36℃前後が最も増殖に適した温度のため、お風呂や加湿器内でよく検出されます。

### 家庭での予防方法

レジオネラ症の予防は、レジオネラ属菌の増殖を防ぐことが大切です。

#### ◆お風呂

家庭では風呂（ジェットバスなど）でエアロゾル（目に見えないほど細かい水滴）が発生するので、次のことに注意しましょう。



- 1 追い炊き機能付き風呂（24時間風呂等）は、取扱説明書に従い管理を行いましょう。市販の配管洗浄剤等を使用し、定期的に追い炊き配管の洗浄を行ってください。浴槽水も毎日交換しましょう。気泡発生装置（ジャグジー）は使わないようにしましょう。

- 2 シャワーヘッドを定期的に洗浄・消毒しましょう。
- 3 風呂のお湯は毎日取り替え、浴槽の清掃を行い清潔に保ちましょう。
- 4 浴槽水のシャワーへの使用や、気泡ジェットなどのエアロゾルを発生する器具の使用も避けましょう。
- 5 浴槽に入る前には、体の汚れを落としてから入るようにしましょう。



#### ◆加湿器

- 1 タンクの水は水道水など衛生的な水を使用し、水の交換は毎日行いましょう。水のつぎ足しは止めましょう。
- 2 定期的にノズルの清掃やタンクの洗浄を行いましょう。
- 3 加湿器を使用しない間は、水を抜いて乾かしておきましょう。



#### ◆家庭菜園など

粉じんの発生する腐葉土を取り扱うときは、吸い込まないようにマスクを着用しましょう。



#### ◆その他日常生活での注意事項

- 1 ホテルのロビーの噴水、洗車、高圧洗浄の利用のときにはエアロゾルに注意しましょう。
- 2 汚染水のエアロゾルの吸入のほか、浴槽内で溺れて汚染水を気管に吸い込んだときの感染・発病も報告されています。
- 3 金魚や熱帯魚の水槽、庭の水が溜まる場所も、注意が必要です。
- 4 台風の後や大雨の後に、自宅周りを掃除するときは、マスク、手袋を利用し注意してください。

レジオネラ症は、適切な抗菌薬を使用することで治療できます。重症化することもありますので、症状のあるときは、早めに医療機関に受診してください。

お問い合わせ

東部保健福祉局〈徳島保健所〉疾病対策担当  
徳島市新蔵町3丁目80  
電話 088-602-8907